

情報端末フェスティバル2011

- 主 催：情報端末事業委員会
- 担当部署：インダストリ・システム部
- 参加者数：延べ 約2,000名

概 要

情報端末事業委員会では、ユビキタス情報社会での情報端末がいかにあるべきかを研究し、我が国の情報端末の新しい分野への発展・普及とこれからの需要喚起を図っていくため、コンピュータのキーコンポーネント（ディスプレイ、磁気ディスク装置）、コンピュータの機能を拡張する装置（プリンター、イメージスキャナ）、業務用装置（金融端末、流通POS端末、ハンディターミナル、OCR、KIOSK端末）を情報端末と位置づけ、製品ごとに専門委員会やワーキンググループを設け、技術動向・市場動向・各種標準の作成等の調査研究活動を行っており、研究内容の発表の場として毎年

「情報端末フェスティバル」を開催しています。

本フェスティバルは今年で15回目を迎え、各製品別専門委員会が実施した統計、需要見通し調査、技術動向を中心とした調査成果報告を12のセッションで紹介したほか、下記の6つの特別セッションにて、IT分野を牽引する事業、最新のトレンドについて情報発信、普及啓発活動を行いました。中でも、特別講演としてご登壇を頂いた吉川良三先生からは、元サムスン常務取締役の経験を踏まえ、今後の日本のものづくりのあり方について提言を頂き、活発な意見交換が行われました。

プログラム

○「東日本大震災の影響と対策について」

経済産業省 商務情報政策局 情報通信機器課 課長補佐 中沢 潔 氏

○「今、世界で何が起きているのか？」

東京大学大学院 経済学研究科 ものづくり経営研究センター 特任研究員 吉川良三 氏

○「紙を脳科学する～紙・iPad・PCの脳活動と自律神経活動の研究報告～」

諏訪東京理科大学 教授 篠原菊紀 氏

○「拡がる繋がるiVDR」

iVDRコンソーシアム 会長 釘屋文雄 氏

○「2020年までの電子機器・半導体業界と日系企業」

IHS iSuppli Japan 副社長 南川 明 氏

○「電子出版とソーシャルネットワーク」

コンセプトクリエイター 小山龍介 氏

